Panasonic

モニターユニット

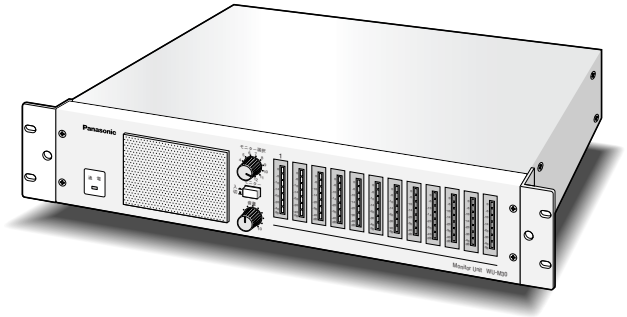
取扱説明書 工事説明付き

品番 WU-M30

この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付



上手に使って上手に節電

もくじ

商　品　概　要 2
付属品をご確認ください 2
安全上のご注意 3
使用上のお願い 4
各部の名前と働き 5
　■前面 5
　■背面 6
入力感度の設定 7
　■電力増幅ユニットとの接続 8
接続のしかた 8
　■4チャンネルパワーアンプ（WA-P430）との接続 10
　■ライン機器との接続 11
　■マイクミュートの接続 12
EMG制御に関する設定 13
　■EMG制御時のモニター音量の調整 13
　■EMG制御時のモニター音量（ON/OFF）の設定 .. 13
設置のしかた 14
　■ラックについて 14
　■取り付けかた 14
故障と思われましたら 15
仕　　様 15
保証とアフターサービス ..... 裏表紙

このたびは、モニターユニットをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

商　品　概　要

本機は、業務放送または非常用放送の放送をモニターするためのラックマウント専用装置です。

- 本機1台で、最大12系統までの音声信号を入力することができます。音声信号は系統ごとに、ハイインピーダンス100系、70系、20系、またはライン入力の信号を入力できます（100系以外の信号を入力する場合、本機内部の設定スイッチで入力感度を設定する必要があります）。
- 入力した音声は、系統ごとに本機前面のモニタースピーカーでモニターできます。確認したい音声の系統はモニター選択スイッチで選択します。
- 本機前面にあるレベルメーターで、常時音声レベルを確認することができます。
- 当社業務放送システムに組み込んで使用する場合、入力制御ユニットのマイク放送端子と本機のマイクミュート端子を接続すれば、マイク放送時、自動的にモニタースピーカーの音量をカットし、ハウリングを防止できます。
- 本機は、DC24 V専用ユニットです。

付属品をご確認ください

取扱説明書（本書） 1
保証書 1
PWR CONTケーブル 1
束線バンド 2
ラックマウント用リブ付きねじ（M5×12） 4

安全上のご注意　必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、
次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたとき生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠警告

工事は販売店に依頼する

工事には技術と経験が必要です。
火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

●必ず販売店に依頼してください。

異物を入れない

水や金属が内部にはいると、火災や感電の原因となります。

● ただちに、分電盤の電源を切り、販売店にご連絡ください。

分解しない、改造しない

火災や感電の原因となります。

● 修理や点検は、販売店にご連絡ください。

異常があるときは、すぐ使用をやめる

煙が出る、臭いがするなど、そのまま使用すると火災の原因となります。

● ただちに、分電盤の電源を切り、販売店にご連絡ください。

不安定な場所に置かない

落下などでけがの原因となります。

取付ねじはしっかりしめる

落下などでけがの原因となります。

● 取付工事は、必ず販売店に依頼してください。

使用上のお願い

●使用温度範囲は

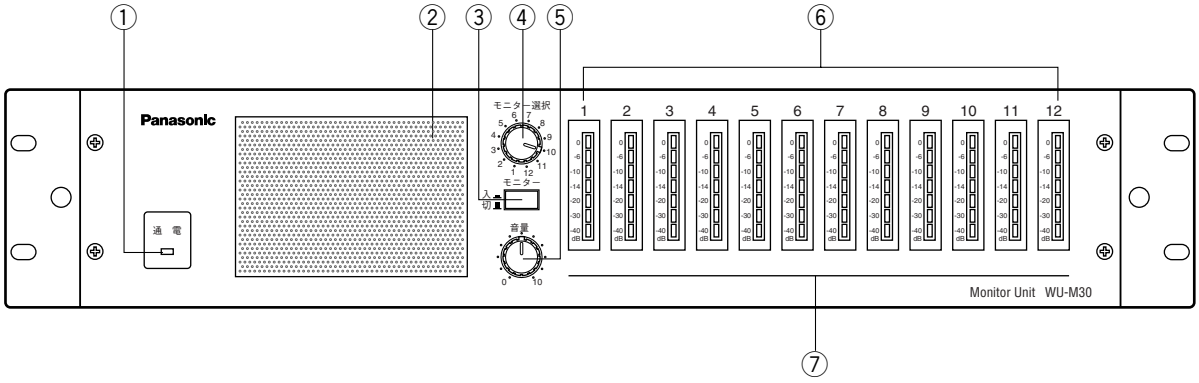
- −10℃〜+50℃までです。この温度範囲外で使用すると、内部の部品に悪影響を与え、誤動作や故障の原因となります。

●お手入れのしかた

- 乾いた布でふいてください。ほこりが取れにくいときには、薄めた台所用洗剤（中性）を柔らかい布に染み込ませ、よく絞り軽くふいてください。その後、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際はその注意書きに従ってください。

各部の名前と働き

■前面



①通電表示灯
本機にDC 24 Vが通電されると点灯します。

②モニタースピーカー
モニター選択スイッチで選択した系統の音声をモニターするためのスピーカーです。

③モニター選択スイッチ
モニタースピーカーで音声を確認するとき「入」にします。「入」にすると、モニター選択スイッチで選択されている系統の音声が出力されます。

④モニター選択スイッチ
モニターする系統（1～12）を選択します。

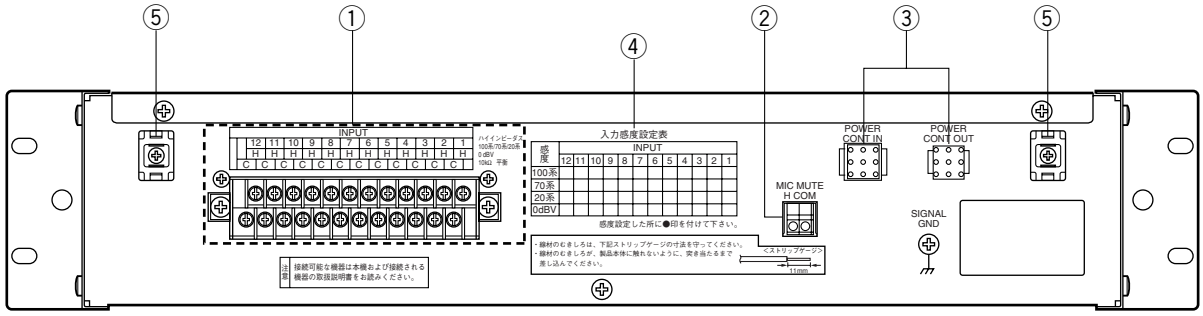
⑤モニター音量調節つまみ
モニタースピーカーの音量を調節します。右に回すと音が大きく、左に回すと音が小さくなります。

⑥レベルメーター
系統ごとに、入力レベルを表示します。
赤色（0 dBV）が点灯する場合、出力側機器の出力レベルを調節してください。出力レベルを調節するときは、システム構成を確認の上、調節してください（システムの構成によっては、アンプで音量を調節してはいけない場合がありますので注意してください）。

⑦系統記名欄
PA系統名やソース名を記入したラベル（高さ9ｍｍの市販の記名シートなど）をはり付けてください。

各部の名前と働き

■背面



①音声入力端子台（入力10 kΩ平衡）

入力1～12の端子台です。演奏・放送機器やPAの出力を接続します。ユニット内部設定により、100系、70系、20系スピーカーラインと0 dBラインを切替設定します。（出荷時100系スピーカーライン）

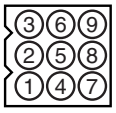
②マイクミュート入力

マイク放送時、自動的にモニター音量を下げるための制御信号を入力します。モニター音量を下げずに、モニタースピーカーの近くでマイク放送を行うとハウリングを起こすことがあります。

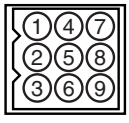
③POWER CONT IN/OUT

当社電源制御ユニットに接続します。DC 24 Vや EMG信号の入力に使います。

POWER CONT OUT



POWER CONT IN



① +24V	電源入力
② BACK UP	中継
③ GND	アース端子（電源0V端子）
④ EMG	EMG制御
⑤ POWER	中継
⑥ URG	中継
⑦ CPU OFF	中継
⑧ 常用(LED)	中継
⑨ NOT USED	中継

④入力感度設定表

入力感度設定スイッチの設定内容を記入してください（マジックなどで該当個所に●印を記入してください）。

⑤ケーブルクランプ

接続ケーブルを付属の束線バンドで固定します。

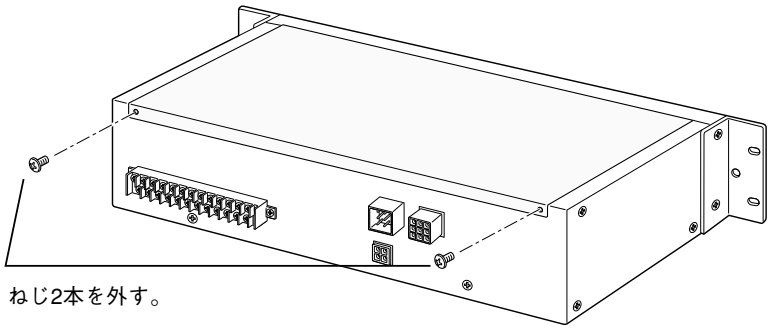
入力感度の設定

工場出荷時、全系統ハイインピーダンス100系に設定されています。100系以外の機器の音声をモニターするときは、入力感度設定スイッチ（SW1～SW12）を設定する必要があります。

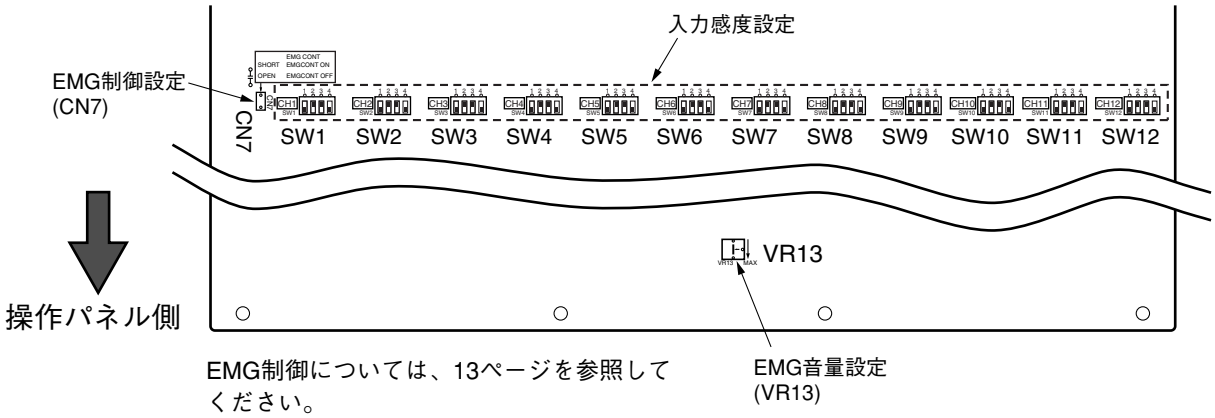
重　要

入力感度設定スイッチは、本機内部にあります。設定は販売店に依頼してください。また、設定する前に、本機に接続する機器の電源スイッチを「切」にし、電源コンセントを抜いてください。

① 後面のねじ2本を外し、上カバーを外す。



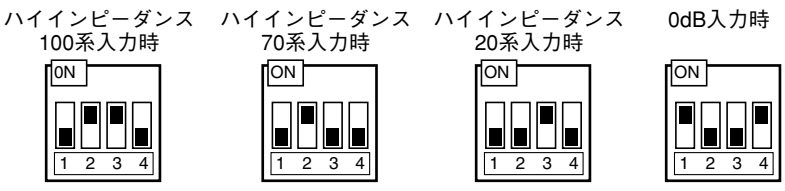
ねじ2本を外す。



EMG制御については、13ページを参照してください。

EMG音量設定
(VR13)

② 接続する機器の仕様を確認し、CH1（SW1）からCH12（SW12）の入力感度を設定する。



（工場出荷時）

重　要

音声を入力しない（機器を接続しない）場合は、100系（工場出荷時の状態）にしてください。

③ 設定終了後、本機後面の入力感度設定表を記入する。
後で、設定内容を確認できるように、系統ごとに入力感度を記入してください。

（例）入力1～4：ライン0 dBV
入力5～12：100系

入力感度設定表

感度	INPUT											
	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
100系	●	●	●	●	●	●	●	●				
70系												
20系												
0dBV									●	●	●	●

感度設定した所に●印を付けて下さい。

接続のしかた

⚠注意

工事は必ず販売店に依頼してください。
工事を行う前に必ず本機に接続する機器の電源スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、「安全上のご注意」をよく読んで、その指示に従ってください。また、接続する機器の取扱説明書も合わせてお読みください。

本機は、12系統までの音声をモニターできます（系統ごとに、H（HOT）、C（COM）があります）。各系統の入力感度は、本機内部にある設定スイッチでハイインピーダンス（100系、70系、20系）、または0dBラインのいずれかを選択できます。

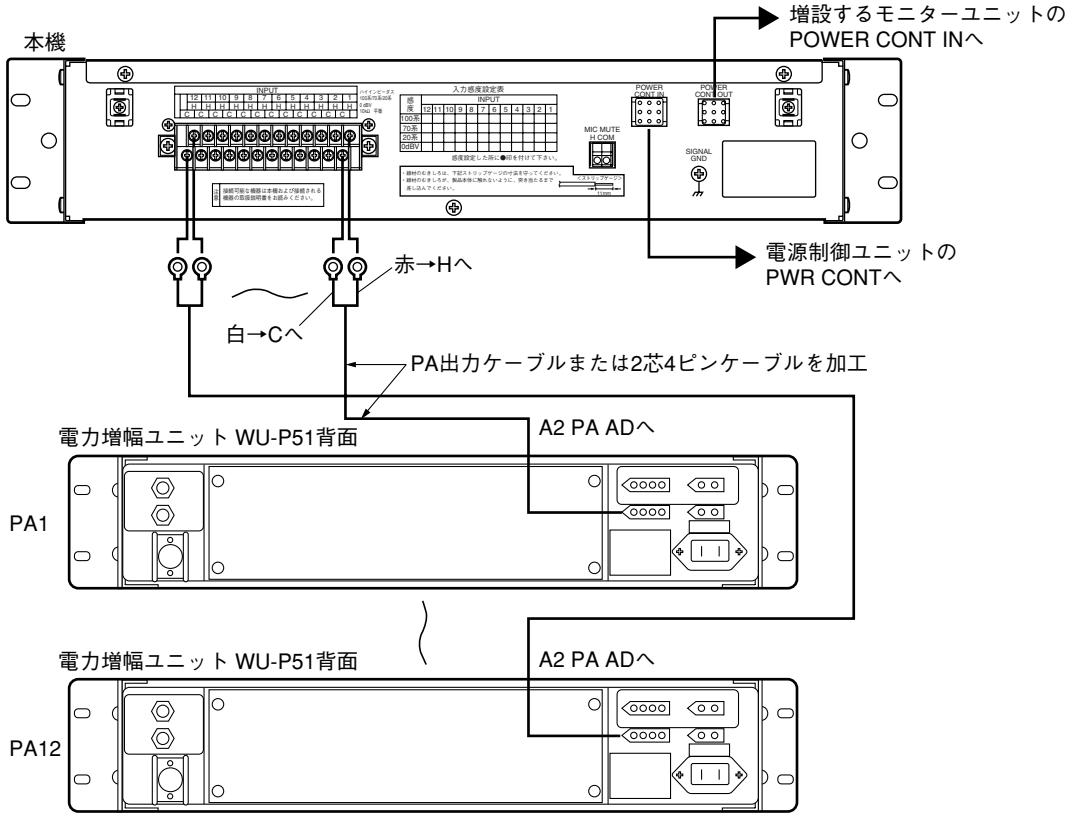
重　要

ハイインピーダンス100 系以外の機器を接続するときは、設定スイッチで入力感度を設定する必要があります（7ページ）。

■電力増幅ユニットとの接続

本機を電力増幅ユニット（WU-P51、P52、P53）に接続して使用する場合は、次のいずれかのケーブルを加工して接続します。（次ページ参照）

- PA出力用ケーブル（4ピン, 2.5 m）W4-4L/25PR（工事部品）
- 2芯4ピンケーブル（4ピン, 2.5 m）YWL6100SR01（サービス部品扱い）



重　要

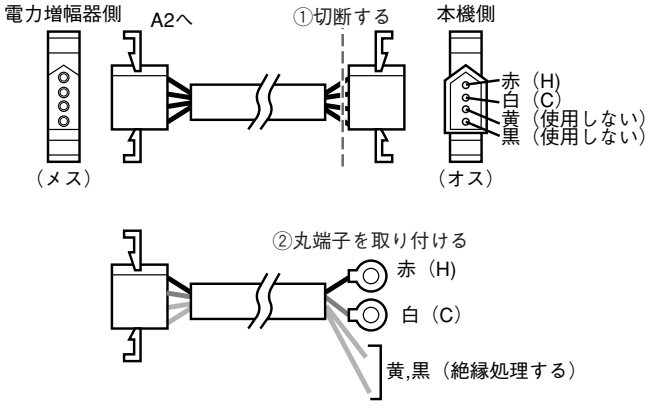
本機を接続すると、システムに対して負荷がかかります。1系統当たりの負荷は以下のとおりです。
ハイインピーダンス100系：約1W　70系：約0.5W　20系：約0.05W

●PA出力用ケーブルを使用する場合

①オス側のケーブルをコネクターの根元から切断する。
黄色と黒色のケーブルは使用しません。切断面にビニールテープなどを巻いて絶縁処理を行ってください。

②丸端子を取り付ける。
丸端子は推奨部品をお使いください。

③端子台にケーブルを接続する。
赤色：SP HOT端子
白色：SP COM端子

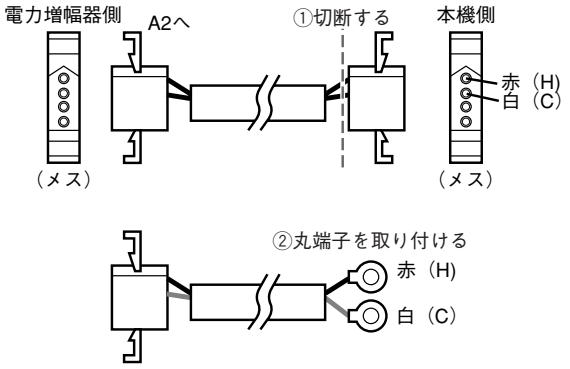


●2芯4ピンケーブルを使用する場合

①一方のケーブルをコネクターの根元から切断する。

②丸端子を取り付ける。
丸端子は推奨部品をお使いください。

③端子台にケーブルを接続する。
赤色：SP HOT端子
白色：SP COM端子

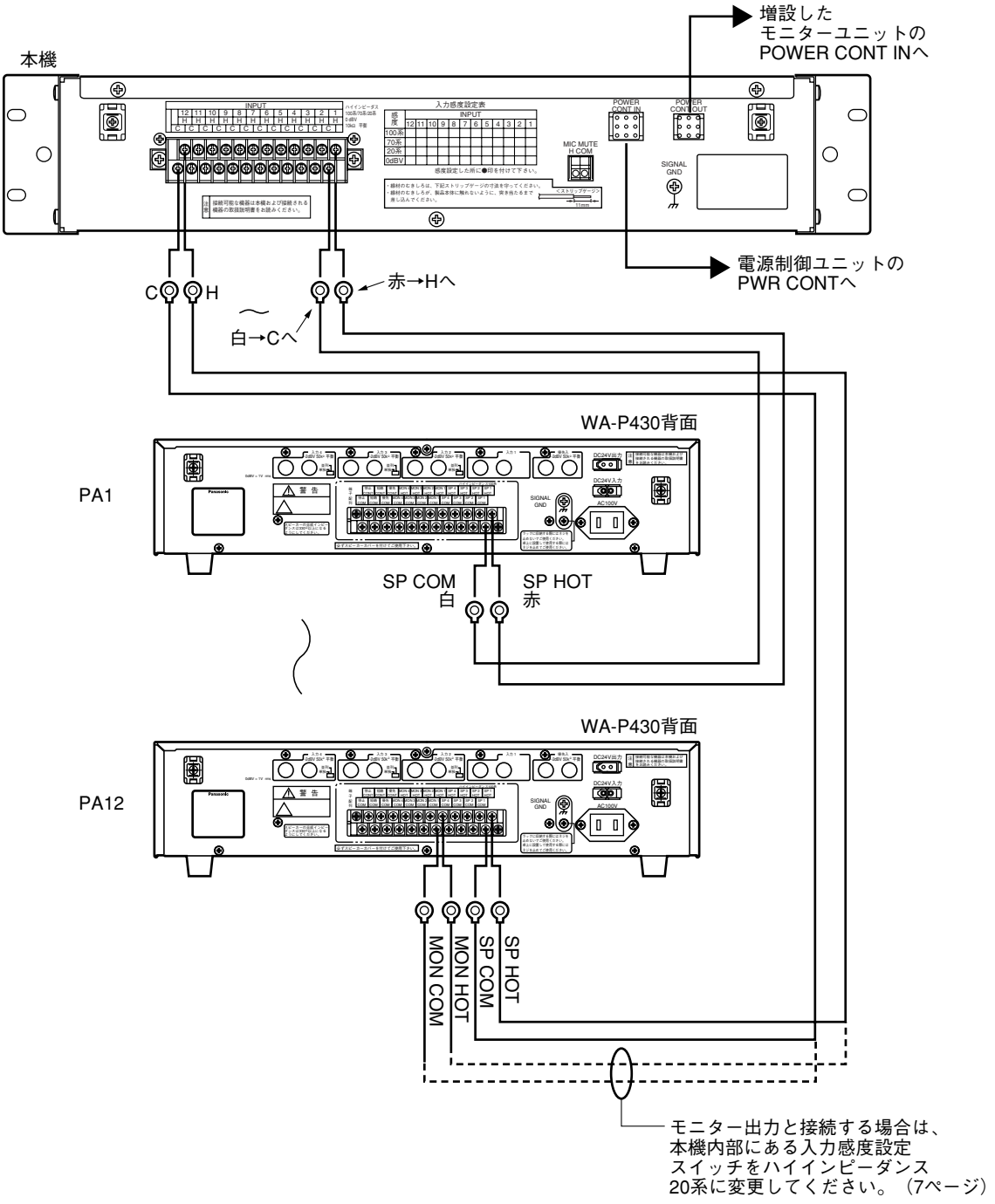


推奨丸端子について

端子台に使用できる丸端子はJIS C 2805 RAV1.25−3 または RAP1.25−3です。
推奨部品：日本圧着端子（株）V1.25−3 または N1.25−3

接続のしかた

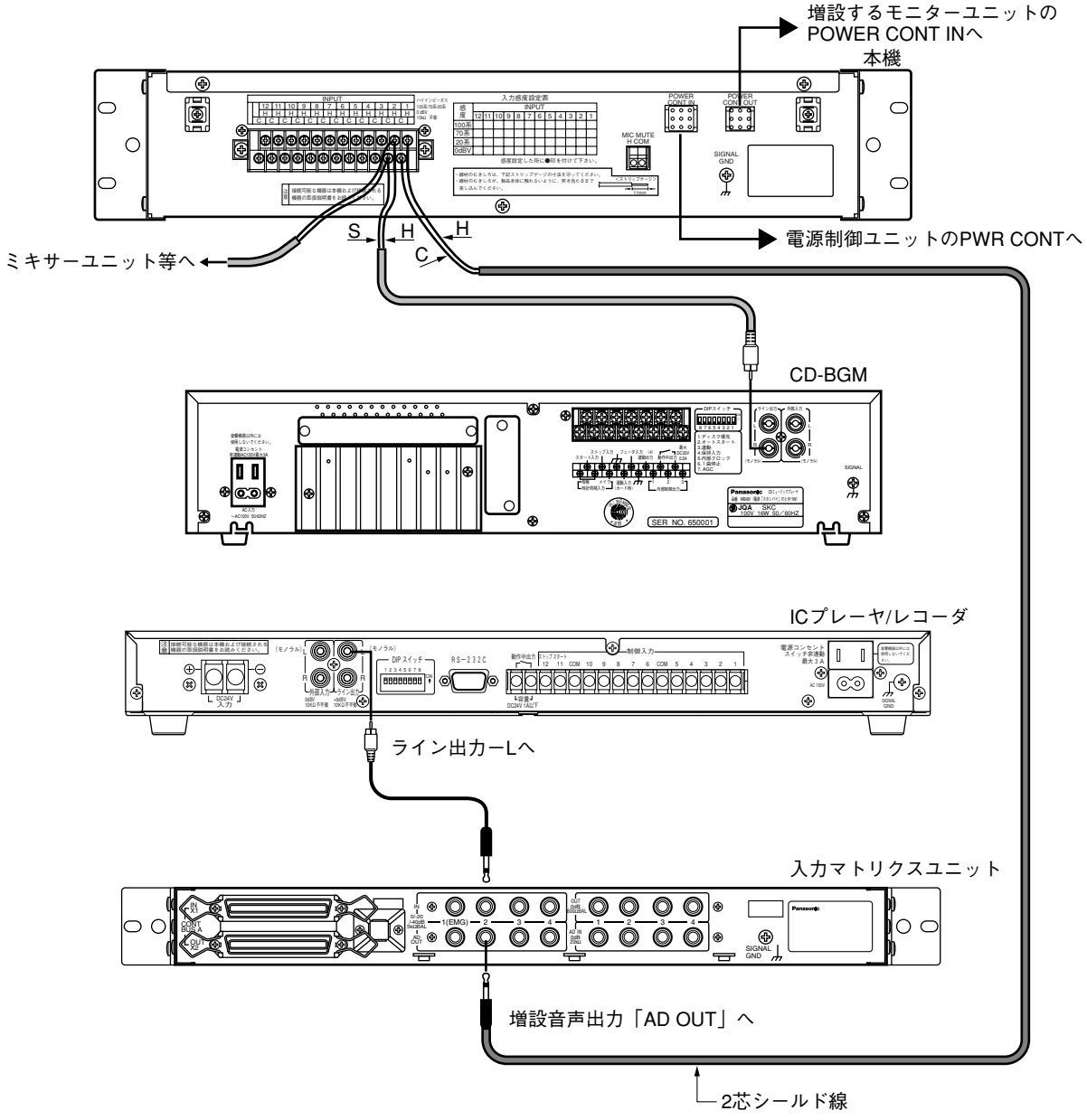
■4チャンネルパワーアンプ（WA-P430）との接続



■ライン機器との接続

- 本機は、CD-BGMやデジタルICプレーヤー（またはレコーダー）などのライン機器を接続してモニターすることができます。
- 入力マトリクスユニットに接続したライン機器の音声をモニターすることもできます。

●0dBライン機器のみ接続する場合



重　要

①2芯シールド線（YWL6655SR01A：補修部品）を使用して接続する場合、芯線のH、Cのみ接続し、シールドは接続しません。

②ライン機器を接続する場合、入力感度は「0 dBV LINE」に設定してください（7ページ）。

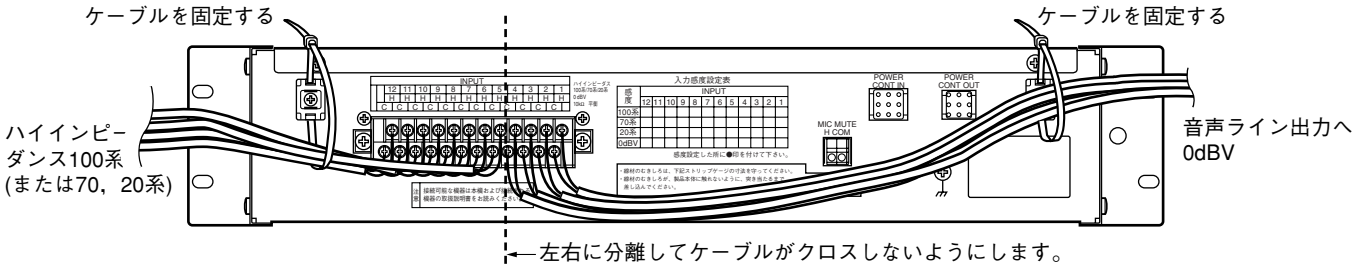
接続のしかた

● ハイインピーダンス機器と0dBライン機器を併用する場合

ハイインピーダンス（100系、70系、20系）機器と0dBライン機器を併用して使用する場合は、下図のよう左右に分けて接続してください。ケーブルは、ハイインピーダンス系、0dBVライン系を左右に分けて、ケーブルクランプに固定してください。

重　要

ハイインピーダンス系のケーブルと0dBライン系のケーブルをクロスさせないでください。クロスさせると、ノイズが入ります。

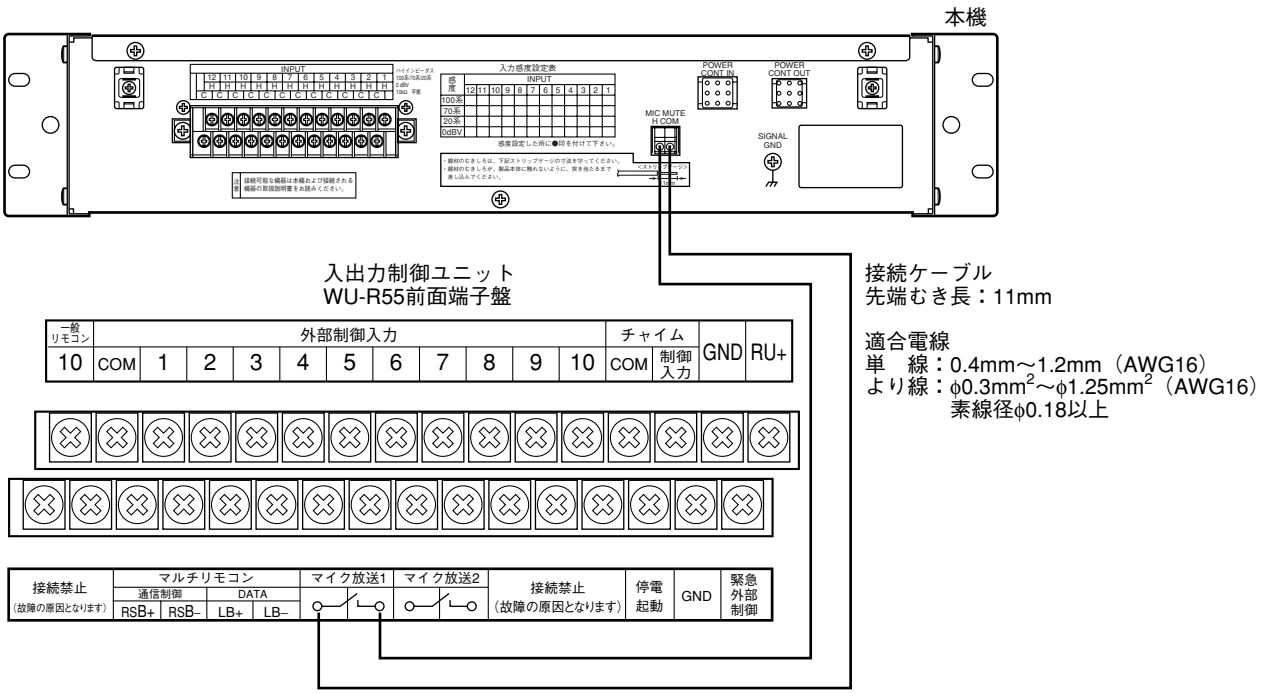


■マイクミュートの接続

本機は、業務放送システム（WL-K500）に組み込んで使用することができます。
下図のように、本機のMIC MUTE端子と入出力制御ユニットのマイク放送1（または2）端子を接続すれば、マイク放送時、モニタースピーカーの音量を自動的に下げることができます。

補　足

業務放送システムのマイクロホンでマイク放送しているときに、放送内容をモニターするとハウリングが発生することがあります。本機のMIC MUTE端子とマイク放送1（または2）端子を接続すると、マイク放送時、モニタースピーカーの音量を自動的に下げるため、ハウリングを防止することができます。



EMG制御に関する設定

EMG制御とは、非常放送時に、非常放送システム（ラック形非常放送システム（WL-7050Aシリーズ））からの制御信号を基に各種制御を行うことです。ラック形非常放送システムに接続してEMG制御を行う場合、本機後面のPOWER CONT IN端子にEMG制御用信号を入力します。本機にEMG制御信号（メイク）が入力されたとき、つぎの動作を行うよう設定できます。

- モニター音量の調節（EMG CONT ONの場合）
- モニターの音量のON/OFF

EMG制御に関する設定を行う場合、7ページを参照し上カバーを外す必要があります。

■EMG制御時のモニター音量（ON/OFF）の設定

ライン機器をモニターする場合、ジャンパーピン（CN7）を「ON」にするとともに、半固定ボリュームを「最小」にしてください（工場出荷状態でお使いください）。これは、非常放送時、ライン機器を停止できないため、モニターユニットよりライン機器の音声がモニターされてしまうためです。
EMG制御をOFFにする場合は、ジャンパーピン（CN7）を「OFF」にしてください。

■EMG制御時のモニター音量の調整

EMG制御時のモニタースピーカーの音量は、基板上のVR13（EMG LEVEL）で調整できます。工場出荷時は、最小（0）に調整されています（右に回すと音が大きくなります）。
VR13の位置は7ページを参照してください。

設置のしかた

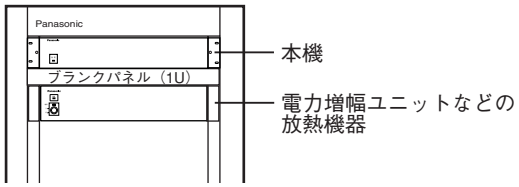
お願い

主となる装置の説明書を参照するなど、システムの概要・仕様を十分ご理解いただき、今一度ご確認のうえ設置してください。

■ラックについて

本機はラックマウント専用です。本機を取り付けるラックは次のいずれかをご使用ください。

スタンダードラック　：WU-RS71（収納ユニット数 29U）
ロングラック　　：WU-RL76（収納ユニット数 41U）
EIA規格相当品　　：EIA19型　奥行き450 mm以上



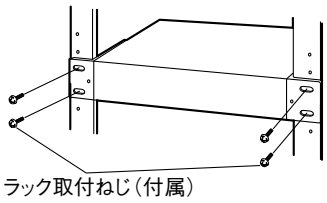
重　要

- ラック内の温度は45℃以上にならないようにしてください。
- 振動の多い場所には設置しないでください。

■取り付けかた

当社製品のラックをご使用になるときは本機付属の取付ねじを使います。

右図のようにラック取付ねじ（付属）でラックに取り付けてください。



故障と思われましたら

修理を依頼する前に、もう一度つぎの事項を点検してください。

症状	対策	参照ページ
通電表示灯が点灯しない	・POWER CONTケーブルが接続されていますか ・電源制御ユニットのブレーカが入りになっていますか	6ページ
レベルメータが、振り切れるまたは、振れない	・入力感度設定が間違っていませんか ・出力側機器の出力レベルが大きすぎませんか ・音声信号が入力されていますか	7ページ、
モニタースピーカから音がでない	・モニター音量が最小になっていませんか ・マイクミュート信号が加わっていませんか ・モニター選択スイッチが「切」になっていませんか	5ページ、 6ページ
モニタースピーカの音量が小さくならないで、大音量になる	・EMG信号が加わっていませんか ・EMG制御に関する設定が間違っていませんか	5ページ、 13ページ

仕　　様

電源	DC 24 V 345 mA (PWR CONTコネクターより供給)
音声入力	ハイインピーダンス100系/70系/20系 10 kΩ平衡　12系統 ライン入力 0 dBV 10 kΩ 平衡　12系統 (内部にてレベル切り換え) HOT, COM　2段端子台
表示	レベルメーター　7連バーグラフLEDメーター (0 dBV～-40 dBV、7段階)　12系統 モニター選択チャンネル　12系統
音声モニター	1 W 音量調節付き (1系統選択)
操作	モニター選択SW：12チャンネル (回転式) モニター入/切スイッチ：1回路
制御入出力	マイクミュート (MIC MUTE) 制御入力：メイク H, COM　　端子台 EMG制御 (音量最大)：メイク EMG　PWR CONT (内部にてON/OFF及び音量設定可能) トランジスタ入力：開放電圧 DC 24 V　短絡電流 1.2 mA
寸法	幅 480 mm　高さ 88 mm (2U)　奥行き 200 mm（つまみ、端子台除く）
質量	3.5 kg
仕上げ	AVアイボリー塗装鋼板 マンセル 7.9Y6.8/0.8近似色

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

■保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間 ： お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品の保有期間

当社は、このモニターユニットの補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理を依頼されるとき

15ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まずPOWER CONTケーブルを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理させていただきます。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

便利メモ おぼえのため記入されると便利です	お買い上げ日	年　月　日	品　番	WU-M30
	販売店名	電話（　　）　－		

パナソニック株式会社
システムソリューションズ社
〒223-8639 横浜市港北区綱島東四丁目3番1号　　電話　フリーダイヤル　0120-878-410

© Panasonic Corporation 2008

A8QA5660EN
NM1100-4108